

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 84

久米南町議会だより 令和5年12月議会



一般質問

町政を問う

立石祐一 P 3

1. 町内の起業者支援の強化と商工業の活性化について
2. 2024年開催の「森の芸術祭」について
3. 小学校統合に関する進捗状況等の住民説明会開催について
4. 副町長人事及び片山町長の来年度町長選出馬への意向について

小坂 守 P 4

1. 空き家対策について
2. 教育環境について

南 直樹 P 5

1. 鳥獣害対策について
2. 現在の3小学校の跡地の利活用について

近藤賢司 P 6

1. 小学校新校舎建設計画について
- ★2. 今後の教育政策について
- ★3. 不登校対策について
- ★4. 小学校統合に伴う今後の計画について
- ★5. 部活動の地域移行について
6. 町長の町政に対する姿勢について
- ★7. 農業振興について
- ★8. 町道の管理と水道水質管理について

河原重義 P 7

1. 国土強靱化地域計画策定後の見直し等について
2. 浄水場・水道水等の検査結果等について
3. 新庁舎等複合施設の完成見学会が実施され、町民の意見・要望が多数あったと考えるが、どう今後に反映していくか

政廣幹夫 P 8

1. 議会要望どおり来年度から学校給食費無償化の実現を
- ★2. 中学生の「久米南学」取り組みに町が学ぶこと
- ★3. 新庁舎・コミュニティセンターが安全に利用されるために
- ★4. 新施設にはATMがなぜないのか。生じる町民負担に補填策を
- ★5. 改めて片山町長に3小学校地域への対応を聞く
- ★6. 久米南町小中一貫校開校準備委員会の審議について
- ★7. 次々発行される「保険証もどき」は、町事務にどう影響か
- ★8. 重点支援地方交付金による事業の検討について

光元一郎 P 9

1. 庁舎等複合施設について
2. 旧庁舎備品について
3. 小学生の体力テストについて
4. 空き家について

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。
※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。



起業者支援策の拡充と副町長 後任人事及び町長選について

質問

一般質問

立石祐一 議員

起業者支援の拡充について

問 現在の起業に対する一部助成から運転資金等の補助要件を設けた創業支援の拡充も必要と考える。町の商工業活性化と起業者の町内移住促進及び新たな協議会の設置など、今後の方向性について伺う。

産業振興課長 運転資金及び設備資金に対する各種支援は、久米郡商工会へ相談を含め事務を委託している。起業する際は、まず産業振興課へご相談いただきたい。現在、同課事業として、議員ご提案の協議会の設置について、移住者、創業希望者等に幅広く対応するため、商工会、農業関係者、行政等、受入体制について必要性を感じている。今年度は、担い手人材育成事業により、都市部の方を対象に、来られた方の受け皿となるコンソーシアム設立に取り組んでいる。今後他の事例を参考に、地域外のニーズを把握し、柔軟な受入体制を目指したい。

「いいね」評価でネット

問 検索すれば、自治体の取り組みが簡単に検索できる時代。コンソーシアムについては、今回はじめて聞いた。起業人材、また町内を活性化する商工業の活性化に向けた取り組みのためにも、しっかりと理解を深め、改めて伺いたい。

森の芸術祭について

問 2024年開催の「森の芸術祭」について、町が参加する経緯と、町内で関連イベント等を実施するのか。

産業振興課長 「森の芸術祭」

晴れの国おかやまは、県北12市町村にて令和6年9月28日～11月24日の2か月間開催される。アート作品を核に、県北12市町村の観光資源との周遊も生まれ、地域全体の観光消費拡大と交流人口の増加等が目的。町独自の関連イベント等は計画していないが、期間中に町内で開催される各イベントや観光地等と連携していきたい。

小学校統合について

問 開校準備委員会等が実施されている。住民の方々にも、進捗等に関する説明会を実施する予定があるか。

教育長

開校準備委員会の審議の後、お知らせすべき事が整えば、何らかの形で行いたい。

副町長後任人事及び町長選について

問 副町長の後任について伺う。また来年7月には町長選が迫っているが、片山町長は出馬されるのか。

町長 町長選について、関係

者等を含めた話し合いのなかで決めたい。副町長人事は来年度スタートが切れたらと思う。

「うれしい」 てつだいの おふるそつじで ほめられた 岸本 美遥

質問 空き家対策・教育環境について



小坂 守 議員

一般質問

「うれしい」うれしいな はっぴょうかいの せいこうだ 藤本 篤史

空き家対策について

問 町外在住の空き家所有者に対しては、固定資産税納税通知書に管理及び活用を呼びかけるチラシが同封されているが、空き家所有者の意識調査等のアンケートは同封されているか。また同封の予定があるか。

産業振興課長

固定資産税納

税通知書へ、町外在住の物件所有者に、空き家バンク制度等を周知することを目的とした、チラシを同封している。空き家所有者の意識調査については、空き家調査等で把握した空き家所有者と思われる方に向けて、町内外を問わず実施している。今年度、地域の方にも協力を頂き、全町的に空き家等調査を実施しており、基礎資料が整い次第、所有者へ意向調査を実施する予定。

問

空き家対策の基礎となるデータを整理するために、各地域の方も参加して、地域協働空き家等マッピング事業が実施され

ている。空き家の詳しい実態が分かると思うので、今後の対策に活かして頂きたい。

教育環境について

問 3小学校の統合後、児童が楽しく学校生活を送るためには事前の環境整備が必要と思われる。今後の取り組みを伺いたい。

教育長

開校準備委員会は1

回目を開催。専門部会として、施設備品部会を4回開催。今後は開校準備委員会の審議を経て、今年度末までに新小学校の校舎基本設計を終える予定。事前の環境整備など、令和9年4月の新小学校開校を目指し、計画的に3小学校合同の授業や、学校行事を増やしていき、児童の交流促進を図る。開校準備委員会は、来年度より専門部会の総務PTA部会とカリキュラム部会を設置して、調査研究をしていく予定。カリキュラム部会において、小中一貫校での教育課程の編成などを主に調査検討し

ていく予定。令和6、7年度の2年間で、新小学校での新しい教育課程を作成し、開校の1年前、令和8年度には、各3小学校で新しい教育課程をできる範囲内で試行的に行っていきたいと考えている。

問

不登校の児童、生徒の学習についてはどのような対応がなされているのか。リモート学習の検討は。

教育長

ICTを活用した自

主学習、在籍学級の授業を見ることができるオンライン学習、家庭訪問による個別指導など、児童生徒の各々の状況に応じた学習形態を選択できるよう進めている。全ての不登校の児童生徒ではないが、教室と別室をつないだり、学校と家庭をつないだりして、授業や学校行事に参加できるようにしている。

質問 鳥獣害対策等について



南 直樹 議員

一般質問

鳥獣害対策について問う

問 町内でも鳥獣被害が多く出ていると思われるが、特にイノシシによる被害について、現在の状況を伺いたい。

産業振興課長 毎年イノシシによる農作物・農地への被害が後を絶たない状況だが、人的被害は今のところ伺っていない。

本年度、獣害による農作物への被害状況は、水稻・大豆共済加入分では、約5・7haで共済金支払額は101万8千円。捕獲頭数は、11月末でイノシシ381頭、鹿90頭で、前年を上回っている。当町でも道路沿いや民家に近いところで目撃情報があり、猟友会と連携を図り、対策を行う必要があると思う。住民の方々の生活を脅かすことがあれば、警察・産業振興課へ相談していただきたい。

問 猟友会は現在何名おられるのか。連携はどのようなになっているのか伺いたい。

産業振興課長 猟友会には71

名が加入されている。

猟友会の事務局を産業振興課の担当職員が行い、随時連絡を取り合い、連携に努めている。

問 猟友会の方々は高齢化や後継者不足により、限られた人数で日夜頑張っておられると思う。他の自治体では、罠にセンサーを取り付け、IOTを活用するなど、業務の効率化を図る取り組みをしているとお聞きした。また、耕作放棄地が増え、野生動物と住民生活圏の区別が曖昧になり、住民の方々が危険な思いをされた例もあると聞く。何らかの対策が必要であると思う。考えを伺いたい。

産業振興課長 猟友会では、高齢により、やめられる方もおられるが、新たに取得される方もおり、過去5年間、ほぼ同数で推移している。

罠へのセンサー取り付け、IOTの活用については、猟友会のご意見も伺い検討する。

小学校再編成後の跡地利活用について問う

問 6月議会で、教育課長は、「最優先に取り組みたい」また町長は、「地域の意向を踏まえ、実施時期や具体的な方法について検討している」とのことだったが、現段階での進捗状況、お考えを伺いたい。

教育長 当委員会のみならず、必要に応じ役場体制を調整し、地域住民の声をお聴きしながら、地域において有益な利活用にしていくため、重要課題として捉え、取り組んでまいりたい。

町長 地域の意向、意見を伺う機会を設けたい。一つの案としては、各地域で総会が予定されているので、総会后に自治会長からご意見を伺うことも考えている。



新小学校建設計画と町長の 町政に対する姿勢について

質問

近藤賢司 議員

「うれしい」 生きている あたりまえこそ 幸せだ 松本 麻那

新小学校建設計画について

問 5年3月の教育審議会答申では、「新小学校は、久米南中学校グラウンドに建設することが望ましい」という取りまとめで、その後の審議会で「中学校施設内に建設」と決定した。何故、建造物で一杯のエリアを含む「敷地内」に変わったのか。

教育長 小中連携に向けた専門的技術提案など、様々な検討をするなか、具体的な建設場所を定めたこととの結論に至った。

問 対象エリアの拡張には、最も古い建造物のランチルームやプールなどを取り壊し、そこに建設する意図があったことは明白。給食の会食、プール学習などの教育活動の場を失うということだ。また、小学校に必要な遊具、花壇、菜園のスペースも校舎近くにとれないことや、危機管理に対応したゾーニングが困難な点は認識されていたのか。

教育長 建設候補地のひとつ

として検討した。それぞれの候補地に新校舎を建設した場合のメリット・デメリット。また議員の言われる事も想定されたので、当委員会としては、グラウンド内に新校舎を建設する事が望ましいと考え、施設備品部会のなかで検討中である。

問 既存施設を壊すA案を回避したのは結構だが、建部町文化センタープールで指導を受けるといふ案も検討されていると聞く。こと子どもの教育を他市町村に頼る考え方は、町の自立性を欠いているのではないか。本町における学校教育をしっかりと考えていただきたい。

町長の町政に対する姿勢について
問 町行政を司る町長として、これまで、どのような町にしたかとの将来ビジョンを持って努力されてきたのか伺う。

町長 第6次町振興計画で6つの基本項目を定めている。

問 第6次町振興計画は目を通している。少子高齢化と人口

流出が町の今一番大きい課題。しっかりととした取り組みをお願いしたい。

ある集落で、町長が直に訪問し地域の要望や意見などを聞かれる機会は一切無かったとお聞きした。地域の様子を確認し、声を聞き、政策に反映させていくことは重要ではないか。これまで地域に足を運び、対話する機会をどれくらい持たれたか。

町長 コロナ禍前の2019年は、十六ぐらいの地域に出かけた。

問 地域の現状を見聞きすることは大変重要で、細やかな配慮が必要。地域の実情を積極的に得られるよう努力を望みたい。

質問

国土強靱化地域計画の見直し等について



河原重義 議員

一般質問

国土強靱化地域計画の見直しについて

問 脆弱性診断の継続が重要。令和三年に国土強靱化地域計画の策定を行ったが、見直し及び改正はしているか。環境変化や状況に応じて適宜適切な見直しが必要ではないか。

総務企画課長 災害リスク毎に対策を定め、発災前の総合的な指針を示している。来年度に所要の見直しを想定している。

問 ハザードマップの修正確認は、防災減災対策として重要。ため池や町道の路肩、橋梁点検等、危険箇所調査は、地域強靱化、発災抑止につながる。

総務企画課長 本年度マップの見直しを行った。出来れば年度内に全戸配布する予定。

問 防災訓練を町全体としてはどうか。それぞれ地域の特性に合わせた自主防災組織中心の訓練であっても、町民皆で防災を考えることが重要。

総務企画課長 地区によって

想定される災害が異なる。訓練を実施する自主防災組織への助成制度もある。

問 小中学校の防災訓練は適切に実施できているか。また防災、減災教育はできているか。

教育長 発達段階に応じた防災教育の推進を図っている。小中共に体験的な学習としては、避難訓練の実施や防災センター等への見学、放水訓練、消化訓練等も取り入れている。

問 いつどのような災害が発生するか分からない。常に行政は住民の生活が安心安全であるように、また事後対策にならないよう対策しておく事が大切。浄水場及び水道水等の検査結果について

問 町内に浄水場は何箇所か。それぞれ問題は無いか。上流に水質汚染に繋がる廃棄物の放置や管理不徹底の資材置場等はないか。確認調査を怠りなくしなければならぬ。

建設水道課長 稼働中の浄水

場3つ全てで適正値で、上流の水源地等の点検も随時行っている。庁舎等複合施設完成見学会での町民からの意見・要望への対応について

問 意見要望が多々あったのでは。利用者、来庁者に対して優しい施設であるべきと考えるが、今後、どういった対応を取るのか。

総務企画課長 約二百名の参加があり、いくらか意見を聞いている。気になる部分、良かった部分、それぞれあり、供用開始したら検討していきたい。

問 評価は様々と思うが、町民にとって安心安全な利用しやすい施設でなければならぬ。十分な対応と検討をお願いしたい。



議会要望どおり来年度から 学校給食費無償化の実現を

質問

一般質問

政廣幹夫 議員

1年のせなかに大きなランドセル 高見 侑那

学校給食費無償化の実現を

問 議会は、来年度から学校給食費無償化を求め、9月21日、杉本議長と河原総務文教委員長が代表して、町長に要望書を手渡した。この回答をいつするのか。町長に伺う。

町長 学校給食費無償化についてのご要望の件で、昨年度の決算からは、児童生徒分の給食費として約1千100万円を納入してもらっている。学校給食費を無償化にすると、この児童生徒分の給食費の歳入がなくなるので、無償化する財源のこと、またこの要望書に記載されている無償化の実施時期など、これらを含め、国などの動向も注視しながら検討したい。

問 と、いうことは、来年4月からはやらないという理解でよいか。

町長 やらないということではなく、検討してまいりたい。色々な方法があるかとは思いますが、それが継続的なものになる

か、一時的なものになるか、そういう意味で検討させてもらいたい。

問 いつまでに検討されるのか。総務企画課長が各課の予算要望を集める締め切りがある。財政規則のその日までに間に合わなければならぬ。やるのかやらないのか、曖昧にしたまま、いつまで検討するのかわからない。もう一度、町長、いつまでにやるのか。

総務企画課長 町長の答弁の補足として、議員のおっしゃるように、各課からの予算要求、来年度にむけての予算要求の締め切りが、ということだが、現時点で、私はまだ目にしていない。来年の1月になると、色々な来年度の協議を始め、今回の議会からの要望案件についても協議をさせていただくというところで、具体的な時期はお伝えできないが、可能な限り、議会からの要望でもあるので、そういった認識で、協議のほうは進

めさせていただくことと、町長からも指示があった。

問 一応議会の答弁だから、先ほど言われたことが回答だろうと理解をするが、議員全員が一致して要望するようなことは極めて稀だと思う。ぜひ実現に向けて全力をあげてもらいたい。たしかに、次々お金もたくさん要る。借金も背負う状況はわかるが、本来の町政の目的は、町民福祉の増進のためだ。いま一生涯懸命、物価高のなか、働いて、子育てされている方に、安心して子どもさんを成長できるように手助けすることが、(町政に携わる)我々お互いの仕事だ。これを忘れないようしっかり取り組んでもらいたい。町の対応には、その時期が来れば、我々議員もどうするかを考えなければならぬ。

質問 新庁舎等について



光元一郎 議員

一般質問

庁舎等複合施設について

問 完成見学会が開かれたが町民の声はどうだったか。町民の声の中で面白かったのは、小学生に好評だったことで、新鮮な目で見て感動が大きかったようだ。新庁舎に町民が行って、気持ちよく帰られるのは、職員の対応次第であり、スムーズな対応、姿勢や態度、言葉、職員皆が決意を新たに対応していただきたいと思う。

総務企画課長

11月26日に見学会を開催し、3時間で200人が来場した。別日には小学生にも見学してもらい、両方でアンケートをお願いし意見を聞いた。

旧庁舎の備品について

問 机、いす、ロッカー等、

不要になる備品を町民に安く提供できないか。過去に消防車等が廃棄されたが、官公庁オークションに出品すれば、高額で取引される。最近ではバスが売れている。廃棄するものでも、少

しでもお金になるもの、あるいは町民が「こんなものが欲しかった」と双方が喜べるのなら、してもらいたい。

総務企画課長

可能であれば何らかの形でリサイクルしたいが、今後検討したい。

小学生の体力テストについて

問 広報紙に小学生の陸上記録会の結果が出ていたが、全国や県の記録と比較してどうだったか。町内の多くの子どもたちがスクールバスで通学しており、体力が落ちているのではないかと懸念したが安心した。カップリースポーツクラブや陸上クラブ、スポーツ少年団、中学校の部活と、これからも子どもたちがスポーツ等で基礎体力が付けられるよう願う。

教育長

今年度は、まだ全国や県の記録は発表されていないが、昨年の記録を見ると、ほぼ全国・県と比べて同等か、上回っているような結果になっている。

空き家について

問 空き家調査で600を超える空き家があると報告を受けた。町長はこの結果についてどう考えるか。毎年、私のところへ普及センターや産業振興課から、何人かの新規就農希望者が来て、家が決まったら就農したいと言われるが、家が決まらず、そのままとなっているケースがある。町内に数泊して、時間をかけて空き家を探すようにしてはどうか。

町長

委託業者による空き家調査を実施したところ、町内に602件の空き家が確認され、そのうち、状態の良い物件が303件あった。所有者の皆様は状態の良いうちにご決断いただき、空き家バンクへの登録をお願いしたい。

新春のごあいさつ



久米南町議会議長

杉本 泰治

新年あけましておめでとうございませす。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会、議員活動に對する多大なるご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、町内外のイベントが再開されるなど、徐々にコロナ禍以前の日常を取り戻しつつあると感じておりますが、長引くウクライナ情勢等の影響による燃料価格や原材料価格の高騰、記録的な円安等により物価が高止まりするなど町民の皆様にとって先を見通せない不安を感じる1年でもありまし

た。

一方、町内では庁舎等複合施設が完成し、本年1月4日に供用開始されました。今後、地域の発展や町民の声を受け止める拠点として、地域の方々にとって身近な存在になればと期待しております。

また、町議会におきましては、昨年、全議員へのタブレット端末の導入により、議会のICT化が進展し、議員間の迅速な情報共有が図られ、議会のペーパーレス化により膨大な量の紙資源の削減を行うことができました。

今後においても、町民の皆様の目線で開かれた議会運営を目指し、皆様のご意見やご提案を町政に反映してまいり、所存でございしますので、引き続き議会に對しまして、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新春のごあいさつといたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございませす。

年初の能登半島地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、町内においても各種イベント、行事などが実施されコロナ禍前の生活が戻りつつあります。本年は、新庁舎での業務がスタート、又町制施行70年の節目の年でもあります。町民皆様方と一緒に久米南町の新しい挑戦の年にしたいものです。編集委員一同皆さま方からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

寒さ厳しいおり、コロナ、インフルエンザなど十分お気を付けてお過ごしください。
(小坂 守)

議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第84号 (令和6年2月15日発行)

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 Ⅱ 086-728-2122

